

診療局：放射線科

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
部長兼放射線センター長 兼放射線治療センター長	中田 耕平
非常勤医員	友田 要
非常勤医師	6 名

＜特色と概要＞

当科では一般撮影検査、マンモグラフィー、消化管造影検査、X線CT検査、磁気共鳴断層(MRI)検査、血管造影検査、核医学(RI)検査など画像診断全般を行っている。また、IVR(Interventinal Radiology)も行っている。

近隣の医療機関からの依頼に対しては、CD-Rにて画像出力を行い、所見とともに返信している。

2025年3月現在、常勤医1名、非常勤医員1名と非常勤医師6名で診療を担当している。画像診断医はすべて放射線診断専門医である。

1997年10月に当センターが開院して25年が経過し、多くの放射線診療機器が更新の時期を迎えたが、2021年度末にて核医学検査装置以外の主要な放射線診断装置のほとんどが最新機種に更新され稼働している。

【機器構成】

一般撮影装置	4台
乳房撮影装置	1台(Sonographe Pristina) (GEヘルスケアジャパン)
X線テレビ装置	3台
骨塩定量装置	1台
CT撮影装置	2台 (Aquilion Prime SP:80列、Aquilion ONE GENESIS Edition:320列) (キャノンメディカルシステムズ)
MRI検査装置	2台 (SIGNA Artist with AIR Edition:1.5T、 SIGNA Pioneer with AIR Edition:3.0T) (GEヘルスケアジャパン)
血管撮影装置	2台 (Azurion 7 B12/12、Azurion 7 B20/15) (フィリップスジャパン)
核医学検査装置	1台 (SPECT)

【放射線科関連情報システム】

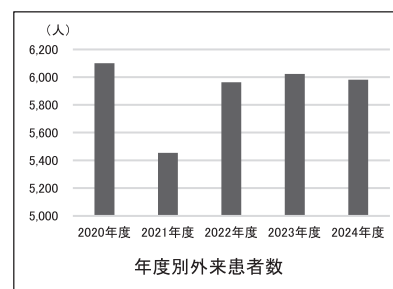
放射線情報システム(RIS) (富士フイルム)
統合画像管理システム(PACS) (富士フイルム医療ソリューションズ)
放射線レポート管理・配信システム (富士フイルム医療ソリューションズ)
ネットワーク型3次元画像処理システム(ZIO)

＜実績＞

外来患者数

(人)

年度	外来	
	延べ患者数	1日平均
2020年度	6,100	25.1
2021年度	5,454	22.5
2022年度	5,963	24.5
2023年度	6,023	24.8
2024年度	5,981	24.6



総読影件数:32,122件

読影件数	
CT	22,113件
MRI	6,461件
核医学	950件
IVR	30件
単純X線/マンモグラフィー/消化管造影	2,568件

＜今年度の反省と来年度への抱負＞

今年度、当科医師は常勤医1名、非常勤医員1名と非常勤医師6名体制で診療を行った。診療規模に比べ労力不足である状況が依然として改善できていない。

地域中核病院の中央診断部門の主科として、より質の高い放射線診断を提供できるように努めていきたい。

診療局：放射線治療科

＜特色と概要＞

詳細については「共同運営部門:放射線治療センター」をご覧ください。